

共に学び！共に生きる！



学校の周りの木々の葉はすっかり落ち、初雪が降り、季節は秋から冬へと変わりました。もうすぐ、2学期が終わります。2学期は、地域のみなさまから地域の資源を提供していただく機会がたくさんあり、地域とのつながりをさらに深めることができた学期でした。

こういった機会は、地域のみなさんに、子どもたちの良さや学校の良さを知っていただく貴重な機会と考えています。そして、こういった機会は、子どもたちにとって、体験し、気づき、考える活動となり、「わかる」「できる」「いきる」活動へとつながっています。



「畑の学校」では、たくさんの地域のみなさんにお手伝いいただきながら「種まき」「収穫」「調理」を体験し、みんなで「会食」をしました。



「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」では、“おもてなし”について学んだり、船高生と一緒に障害者スポーツを学んだりしました。



大日本プロレス中之上選手が来校！小野高生との書道パフォーマンス交流！

小学部おはなし会！

オリ・パラ国際交流！

地域のみなさんとの様々な交流活動は、いつも「人と人とのつながりの温かさ」を感じています。ちょっと難しいことも「こうするとわかる」「こうするとできる」をお互いに体験・経験する中で、「共に生きる」を実感しているように感じています。「地域とともに地域のみなさんとともに」を大切にしていきたいと思えます。

平成30年12月

～児童生徒一人ひとりの夢の実現をめざして～



福島県立たむら支援学校長 齊藤 恵子